

第3回 女性連合・私たちのひろば 記録

2022年9月10日(土) 10:00~11:45

司会： 本多依子副会長

記録： 戸井田敦子書記

参加数： 委員・役員含め 38名（33ライン+サテライト複数参加分5）

1. 開会挨拶 司会

2. 祈り 吉高路 会長

3. 自己紹介タイム

役員 → 検討チームメンバー → 実行委員 → 参加者

4. 女性連合の紹介(パワーポイント使用) 米本裕見子幹事より

5. 検討チームで話し合われている課題

①女性連合が抱えている課題について

会員数の減少による会費の減少：高齢化、40代50代働く女性が多い

『世の光』の購読数の減少：会費と『世の光』購読収入で、女性連合の事務局運営と活動が行われているが、購読数、会員数の減少によって、財政面での課題が生じている。

次の世代にどのようにつないでいくか。

『世の光』電子書籍化 次世代への広がり、コスト削減など)

連盟との協働である「世界伝道・宣教」の働きの中に、ジェンダーの課題がある事にも気づきを与えられた。

②女性連合の理念や目的・使命を見直す作業を行っている。(ハンドブックの内容検討)

6. 全体への投げかけ

①全国の女性会の課題をお聞かせください

新しい「理念」に関して、今回のビジョンとミッションを確認したい。

「神の愛（福音）を分かち合う世界宣教を使命」とある。この言葉を選んだのはなぜか。

活動について、捨てていこうというところと、変わらず持っていきたいところ、という説明があったが、捨てていこうとしているところとは何かを説明して欲しい。

➡これまでのような一方的に伝える「伝道」ではなく、これからは、双方向の交わり、共に生きる

「宣教」であることを思い、「分かち合う」という言葉にした。神に与えられたいのち、そのまま差別なくみなが生きていることを喜び合える、そのような関係を大切にして求めていきたい、という思いがある。

具体的な活動については、どれも残したい思いはあるが、整理して、どの活動に重点を置き、また手放すのか、小さくするのかを考えているので、お声をお聞かせいただければと思う。

➡そこ「宣教」を強調して欲しい。いまだに、伝えることを「伝道」だと思っている人がいる。神の愛を分かち合っていくことが「伝道」であることが、これからは大切なのではないか。

今まで宣教師派遣の中で、構造的にジェンダーの課題があったことについては、

•連盟より全国発送（9月15日付）の中に、宣研ニュースレターが入っている。その中に女性連合と連盟の関係性の歴史と「世界伝道」の形について課題が掲載されている。

•また「聖書教育」（10月、11月、12月号）の中にも「世界祈祷週間」献金についての記事があ

ります。そちらも是非お読み下さい。(両方とも執筆は幹事)

連盟と女性連合の中で、推進をしている中で構造的に腑に落ちないところがたくさんあった。今のジェンダーに関するお話で腑に落ちた。

連盟も女性連合も機構改革の中、また、うちの教会も機構改革の最中である。しかし、互いに関連している団体なので、他の団体の方針や全体像が分からないと進めていけないところもある。今現在、連盟と女性連合で話し合いが行われているのか。

女性連合のこれからの活動として、100年後も世界伝道を進めていくと誓い合えるようなものがあるのか。

オンラインでの信徒大会や総会については、総会はハイブリッドが良いと思う。教会に戻って伝えきれないことも多いので、多くの会員がオンラインで参加できると良い。信徒大会は華やかで一見無駄に思えるような部分もあるのかもしれないが、世界伝道の夕べや証しなど、対面で祈りを一つにしているという実感が持てた。対面が良いかと思う。

➡将来は、対面とオンラインの、ハイブリッドで総会を行っていきたい。天城山荘は今月末で連盟から手放される。集まる場所の課題が出てくる。また、信徒大会を対面で行うことについては、場所の問題もある、地方連合を回っていくような壮年連合のようにするのか、地方連合が苦闘している今難しいか、など、さまざまなことを検討しなければならない。

連盟の機構改革について女性連合が関わっているのは、連盟の「これからの国外伝道委員会」でこれからの方向性を話し合っている。その方針が出されたら、そこから具体的にこの「ひろば」のような場所や他の媒体で発信し、話し合っていていきたい。

ジェンダーの問題、「女性」連合になっている限り、女性だけの集まり、呼びかけも他の方にできないのか、という話もある。「女性」を変えたほうが良いのではないかと考えている。「世界伝道」と「後継者育成」という女性連合の働きの中で、世界には女性だけでは解決できない問題が多々あるので、もう「女性」をとったほうが良いのではないか。「世の光連合」など名称を変えても良いのでは。

➡たしかにジェンダーに関わらず、働きによって信徒活動を行うことを選択した教会も出てきている。反面、連盟と女性連合の間に構造的課題が横たわっているように、まだまだ女性がマイノリティーになっており、女性で安心して話し合い分かち合えるような場が必要と思う。LGBTQの方々を含め（それでカギカッコつきの「女性」にしている）、マイノリティーの方々とともにエンパワメントされていくような活動を目指したい。

教会、地方連合で女性会・女性連合の活動を担いきれない・大変だという声を聴く。相当荷が重くなっていることも感じる。皆さんは、女性連合が必要だと思っているのかと考えることもあった。しかし、このような「ひろば」では、女性連合のつながりと情報発信で励まされ、信仰が育てられたという声も聴けて、本当に嬉しかった。やはり、女性連合を残していかななくてはというところに立っている。

連盟と女性連合の活動が重なりあっている部分が結構あるので整理してスリムにし、大切なことを残して力を注いでいくのが良いのではないだろうか。

自分の教会は各会活動というのがなくて、みんなで担うという感じ。女性が多いので、女性が担って

いるという現状。「婦人連合」から「女性連合」へ名称を変えた時もみんなで考えた。今、変えようというのは、やはり時代、今に相応しいものをみんなで考えていく素地があって嬉しい。どんな名称が私たちの活動に相応しいのか、みんなで考えていけるのが良いと思う。

世界祈祷週間献金については、捧げたことで満足するのではなく、捧げたものがどう使われるのかを、知ることが、捧げた者の責任であるとYWCAの方に言われたことがあり、とても印象に残っている。私たちは今まで、連盟にささげて、ハイお願いします、になっていなかったか。現実にはそれが担えなかった部分もあったと思うが、きちんとどのように使われるか、届くところまで見届けること、最後まで関心を持ち続けていくことが大切だと思う。

女性連合の凄い所は、このネットワークである。安心して呼び掛けることが出来、そして応えてくれる仲間がいる、これは強いことではないか。

連盟理事会の大きな課題が、「これからの国外伝道」である。検討する委員会には女性連合の方が加わってくださっている。今まで理事会は、ほとんど教役者の男性である。ここには課題があったと思っている。理事として、「これからの国外伝道検討委員会」から出される答申は本当に大切に考えていきたいと思っている。また、出ていく伝道ではなく、これからは国内にいる国外にルーツを持つ方々と「共に生きる」ということを大切にしていきたい。

地方連合では、機構改革などについて行けず、女性連合はなくなるんじゃないかしら、とか、教会によっては各会活動辞めてしまったところもある。とても残念である。

先ほどのお話にも、女性連合のネットワークがとても力になり、私たちの宝であるとあった。女性としてのネットワークを大切に、また、女性として声を上げ続けることが大切。いろいろなことが絡み合って、混乱するが、その状態に耐えながら一緒に考え、紐解いていくことをあきらめないでいきたい

い。

世界祈祷週間の献金構造についてもそうだが、自分たちの反省も含め、これまで無批判に続けてきたことや、与えられたことをただ行い続けるのではなく、一つ一つ考えていくことが、責任ではないか。祈祷週間献金を捧げ、結果的に関心がなかったのではなく、働き人からの報告は『世の光』などで分かち合い学び恵みをいただいていた。結果ではなく、方針の決定プロセスに入れなかったこと、責任を持たされてこなかったことを良しとしてきたことが、連盟そして女性連合が見過ごしてきたジェンダー課題だったと考えている。

(チャット欄のご意見)

女性連合の理念・ビジョンについて、美しい文章になっていると検討しにくいと思う。キーワードでひとつずつ示されていると深く考えていけないのではないか。

「私たちのひろば」は何回シリーズで予定されているのか。この企画が有限なのか、ずっと続くものか分かれると良い。また、必ず初回参加の方がいらっしゃると思うので、話題は重なるかと思うが、テーマがあると話しやすいのではないかと。基調講演までいなくても、メッセージや主張などを聞けると話が交えやすいのではないかと。その内、初回参加の方と回を重ねた方と話す内容に差が出てきてしまうのではないかと危惧する。

→諸教会の現状とリンクさせて位と考えていて、今の形にしている。対話を始めるときのテーマをクリアにする必要があるかもしれない。

「ひろば」で話されていることをホームページなどで情報共有していくと良いかもしれない。

7. 今後のスケジュールのご案内 (画面共有)

•ひろば 9月11日(明日) 14:00～

11月12日(土) 10:00～

11月13日(日) 14:00～

•議案説明、懇談会 10月15日(土) 13:00～16:00

•オンライン信徒大会 10月29日(土) 13:00～16:00

•『世の光』サロン 11月23日(水) 13:30～15:45

ファシリテーター 竹之内裕文(静岡教会/静岡大学の先生)

テーマ:死生学 「死と向き合いつつ生きる、を考える」

お祈り 戸井田敦子 書記